

別紙標準様式（第7条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	令和4年度 第2回雇用推進事業者選定審査会
開 催 日 時	令和5年(2023年)2月20日(月) 午前9時50分から 午後1時55分まで
開 催 場 所	枚方市役所第3分館(旧市民会館)3階 第2会議室
出 席 者	中原委員(会長)、芦田委員(副会長)、海老原委員、平林委員、古田委員
欠 席 者	—
案 件 名	(1) 事業者の応募状況について (2) 参加資格審査について (3) プレゼンテーションについて (4) 採点について (5) その他
提出された資料等の名 称	資料7 令和5年度市内企業若者雇用推進事業委託契約予定事業者募集に係る質疑・回答 資料8 申請団体一覧 資料9 参加資格について 資料10 採点表 資料11 評価コメント記入用紙
決 定 事 項	・各申請団体の採点表及び評価コメントを令和5年2月22日(水)正午までに事務局に提出する。 ・講評(案)については、事務局にて取りまとめ令和5年3月1日開催の令和4年度第3回雇用推進事業者選定審査会に提出する。
会議の公開、非公開の別及び非公開の理由	非公開 枚方市情報公開条例第5条第1項第6号に規定する「情報の公開をしないことができる情報」に該当する内容について審議するため
会議録の公表、非公表の別及び非公表の理由	本審査会の答申後に公開
傍 聴 者 の 数	—
所 管 部 署 (事 務 局)	観光にぎわい部 商工振興課

審議内容

【中原会長】

ただ今より、令和4年度第2回雇用推進事業者選定審査会を開催いたします。
まず、委員の出席状況及び本日の進め方等について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

本日は委員5名全員の御出席をいただいております。本審査会が成立することを報告させていただきます。次に、資料の確認をさせていただきます。資料は事前に郵送若しくは持参させていただきます。次第のほか、資料7令和5年度市内企業若者雇用推進事業委託契約予定事業者募集に係る質疑・回答、資料8申請団体一覧、資料9参加資格について、資料10採点表、資料11評価コメント記入用紙、参考資料として、参考資料1プレゼンテーション進行表、参考資料2審査・採点の方法、考え方に係る補足説明資料、参考資料3採点メモ、そのほか、ファイルにまとめておりますのが、業務提案書一式でございます。また、前回の審査会において、募集要項等を一部修正しておりますので、修正後の募集要項及び仕様書を本日お配りしております。書類の過不足等はありませんでしょうか。

本日は、事業者の応募状況についてご報告させていただいた上で、参加資格審査、申請団体のプレゼンテーション、また、採点に関する確認等、必要な審議を行っていただく予定としております。説明は以上でございます。

【中原会長】

ただいまの説明について、委員の皆様から何かご意見、ご質問はありませんか。

<意見等なし>

【中原会長】

それでは、本日の案件（1）「事業者の応募状況について」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。

【事務局】

それでは、ご説明させていただきます。まず、資料7令和5年度市内企業若者雇用推進事業委託契約予定事業者募集に係る質疑・回答をご覧ください。本年1月4日から募集要項及び仕様書を本市ホームページ等へ公表し、1月5日から公募を開始しましたところ、2者から参加資格・提案審査に係る質疑がございました。質疑及び回答内容につきましては資料7のとおりでございますが、時間の都合上、質疑に関する個別のご説明は割愛させていただきます。続きまして資料8申請団体一覧をご覧ください。質疑を経て、5者より参加表明書及び業務提案書の提出がございました。本日は、当該5者の提案に係る審査を行っていただきたいと考えております。説明は以上でございます。

【中原会長】

ただいまの説明について、委員の皆様から何かご意見、ご質問はありませんか。

<意見等なし>

【中原会長】

それでは、次に案件（２）「参加資格審査について」を議題とします。事務局より説明をお願いします。

【事務局】

資料9参加資格についてをご覧ください。参加表明書と同時に提出された、参加資格確認書類を基に、事務局にて申請団体の参加資格を確認しましたところ、申請団体1～5いずれも参加資格を満たしていることを確認しました。説明は以上です。

【中原会長】

ただいまの説明について、委員の皆様から何かご意見、ご質問はありませんか。

<意見等なし>

【中原会長】

それでは、次に案件（３）「プレゼンテーションについて」を議題とします。それでは、事務局から採点方法等について説明をお願いします。

【事務局】

それではご説明させていただきます。まず、本日のプレゼンテーションの流れについて参考資料1プレゼンテーション進行表をご覧ください。この後、採点方法についてご説明させていただいた後、10時から申請団体1によるプレゼンテーションを実施します。申請団体からの説明が最大20分、質疑につきましても20分程度を想定しております。質疑終了後、申請団体には退出いただき休憩を挟んだ後、次の申請団体のプレゼンテーションを行います。申請団体2以降のプレゼンテーション開始時刻は10時45分、11時35分、12時20分、13時10分を予定しております。申請団体5の質疑終了後、採点に関する確認事項等について審議いただき、本日の審査会は14時終了を予定しております。

次に、採点方法についてご説明させていただきます。参考資料2審査・採点の方法、考え方に係る補足説明資料をご覧ください。まず、1.「審査の流れ」についてですが、申請団体から提出された業務提案書及び実施するプレゼンテーションの内容が審査項目の内容を充足しているかを審査いただき、資料10採点表及び資料11評価コメント記入用紙へご記入いただき事務局へご提出をお願いいたします。事務局にて取りまとめた結果を次回の第3回審査会においてご確認いただき、最優秀提案者及び優秀提案者を決定していただきたいと考えております。次に2.「審査方法」につきましては、採点表の各項目について配点内で評価をしていただくものです。項目ごとに審査内容を定めており、その審査内容の数に応じて配点しています。評価の基準としましては、1が著しく不良、3が標準、5が特に優良として、各審査内容について1～5の5段階で評価していただきます。これらを審査項目ごとに合算し、それぞれ採点表の採点結果欄へご記入ください。また、参考資料3としてお配りしております採点メモは提出の必要はございませんので、必要に応じて適宜ご活用ください。

次に3.「委託料について」でございますが、委託料総額の最も低い額を提案した団体の得点を満点である20点とし、その他の団体には最低価格を基準とし、そこからどの程度高くなっているかにより減点することで得点化し、事務局にて点数を記入させていただいております。

続きまして、**資料11**評価コメント記入用紙について、ご説明いたします。こちらは、申請団体の採点・評価を行っていただくに際し、その申請団体に関して良かった点、良くなかった点などの評価理由やさらに期待する点などについてご記入いただくものです。申請団体ごとに用紙を用意していますので、それぞれご記入をお願いいたします。最終的に、委員5名の採点結果を合計した点数とあわせて、各委員にご記入いただいた評価コメントを事務局で取りまとめ、審査会としての評価コメント（案）を作成し、次回の審査会において、皆様にご確認をいただいたうえで、公表してまいりたいと考えております。本日のプレゼンテーションでは、申請団体の提案内容等に関し、委員の皆様から事業計画書から読み取れない部分等について、ご質問をいただければと考えています。説明は以上でございます。

【中原会長】

ただいまの事務局からの説明に対して、委員の皆様からご意見、ご質問はありませんか。

<意見等なし>

【中原会長】

本日は、限られた時間の中で5者の提案審査を行います。こちらで時間管理はさせていただきますが、皆様の方でも**参考資料1**プレゼンテーション進行表を確認し、時間を気にしていただきつつ内容の濃い審査ができるよう要点を絞ってご質問いただけたらと思いますので、委員の皆様ご協力をお願いします。

【芦田副会長】

参考資料1プレゼンテーション進行表に記載されている時刻は、それぞれの開始時刻でしょうか。

【事務局】

はい、開始時刻を記載させていただいております。

【中原会長】

1者目は10時からプレゼンテーションを開始し、質疑開始が10時20分、10時40分には質疑を終了するということです。前回は、余裕があれば5分程度延長して質疑を続けることもありましたが、今回は時間の都合上そういったことはせず、質疑は各者決められた時刻に終了できるようご協力いただきたいと思います。開始時刻の10時までまだ少し時間がありますが、皆様の採点の準備ができているようでしたら1者目をお呼びしたいと思います。いかがでしょうか。

それでは、申請団体1の誘導をお願いします。

(申請団体1入室・準備)

【事務局】

ご準備はよろしいでしょうか。それでは、プレゼンテーションの時間は20分です。終了1分前になりましたらベルでお知らせし、所定の時間になり次第、終了とさせていただきますのでご了承ください。なお、プレゼンテーションが終了しましたら、引き続き委員の皆さんからの質問にお答えいただきますようお願いいたします。それでは、始めてください。

【申請団体1】

<申請団体1説明>

【事務局】

それでは会長、以降の進行をお願いします。

【中原会長】

プレゼンテーションありがとうございました。それでは委員の皆様、ただ今の内容についてご質問やご意見がある方は挙手にてお願いします。ご指名させていただきます。

【海老原委員】

非常に魅力的な提案だと思いながら業務提案書を拝見させていただきました。その中で2点確認したいことがございます。まず、学生にとってだけでなく、企業にとっても採用力の向上という点で非常に魅力的な施策を打ち出しておられると感じました。具体的にはナレッジセミナーの開催ということですが、スケジュールではオフライン・オンライン合わせて合計4回開催するというので、プログラムを見ると2種類のプログラムなので、各企業オンラインとオフラインと2回セミナーを受けられるということかと思いますが、そのセミナーを受けることでどのように採用力がアップするかという点について具体的にご説明をお願いします。もう1点は、合同面接会を10月・1月と少し遅い時期で開催されるということ、他ではもう少し早い時期で開催されるケースもありますが、あえて時期を遅らせて開催される趣旨を教えてくださいませんか。

【申請団体1】

1点目のナレッジセミナーについてですが、採用力を向上させるにはキリがなく、伴走できればできるほど良いのですが、前編・後編で同じ企業に複数回参加いただくというよりはできるだけ多くの企業に最低限ボトムを上げていただくということを目的にオンライン・オフラインで複数の日程をご用意させていただいております。中小企業の方は、自社で当たり前に行われていることが実は他から見ると素晴らしいことであることに気付いていらっしゃる人が多いので、まずはそれを表に出しましょうということを全体的にさせていただきたいと思います。

2点目について、面接会の開催時期として今回は10月と1月から2月をご提案させてい

ただいています。まずは、大企業が多く採用される時期を外しています。今回のターゲットとして第二新卒や転職希望の求職者を取り込みたいと考えており、10月については年度の折り返しで、大企業の採用活動が一旦終わった後、内定を持っていない学生を取り込むためです。1月・2月については、4月入社に向けて学生や転職希望者など、どうしても決まっていな方がいらっしゃるかと思います。また、離職者の意欲が最も高い時期は1月・2月かと思しますので、遅い時期ではありますが、あえてこの時期をご提案させていただきました。

【海老原委員】

合同面接会を成功させるためにセミナーや工場見学ツアーなどの施策があり、その効果が実を結ぶところが10月頃ということもあるのでしょうか。

【申請団体1】

仰る通り1つ目の山が10月頃にあり、2つ目が1月・2月にあるというところで、その間に工場見学ツアー等を実施します。また、1月・2月は内定がなく不安に感じている求職者も多いので、できれば企業には社長であったり採用決定者に参加していただき、そこから何度も面接というよりは、その人となりを見てその場で採用に繋がられるよう、参加企業へご提案させていただきたいと考えています。

【海老原委員】

ありがとうございます。

【中原会長】

他にご質問等はありませんでしょうか。

【平林委員】

若い方の意識をものづくりに向けるということが非常に難しい状況かと思いますが、今回のご提案では企業の魅力発信について主に見学とクイズということで提案されています。中でも見学については、2回を提案されていますが最終の面接に向けてということであれば少ないのではないかと思います。いかがでしょうか。

【申請団体1】

先ほどセミナーのご説明の中で、採用力や育成定着率を上げるためにご説明しましたが、補足させていただきます。DXを進めるために、自社のツールを活用することで採用ホームページが無料で作成でき、その情報が求人情報専門の検索エンジンに掲載されます。面接会の前にそのセミナーをさせていただくことで、1社でも多くの企業が採用をデジタル化し、検索性・発見性を上げることに繋がられます。工場見学ツアーについては、ターゲット層を2つ想定しています。2024年入社というターゲットがあり、枚方市の企業を知りそのまま面接会に進んでいただくという流れが最も理想ではあります。なかなかそこまではいかないですが、そこでインプットしたイメージが翌年度2025年入社予定の方に一度枚方市で就職活動をしてみようかと思わせることができればと思い、こちらの見学ツアーを提案しています。なかなかすぐに面接というところの動線が難しいかと思しますので、まずは枚方市にこんな

企業があるということを知っていただくという趣旨であります。

【中原会長】

ありがとうございます。他にご意見・ご質問はございますでしょうか。

【芦田副会長】

大変分かりやすく説明していただきありがとうございました。2点ありまして、1点目が冒頭の説明にもありました通り、就職してもらおうと思うと企業側にどういった魅力があるのか、それをどう知ってもらうのかということが大事だと私も思います。セミナーで、企業の隠れた魅力をどのように引き出していただけるのかという点と、セミナーだけでなく説明会や工場見学ツアーにどのように活かしていけるのか、そこまでがパッケージになっていると非常に有り難いと思いますが、そういったことをされる予定があるのかという点が1点です。もう1点、予約システムとありますがこの必要性があまり伝わりません。御社ではいろいろとシステムをお持ちだと思いますが、既存のものを使わずに新しく作ろうとされている意図をお伺いしてもよろしいでしょうか。

【申請団体1】

企業の魅力、仕事の魅力は各社各様だと考えておりまして、例えば企業の魅力を出すのに、仕事の面・製品の面・福利厚生面の面・一緒に働く仲間の面などいろいろなフレームがありますので、こちらを提示させていただきます。企業の魅力についてこんな切り口で自社の魅力を抽出してもらえませんか、また、採用の対象を広げてみませんか、といったワークをしていただき、何をデジタル上に載せると良いかということをご認識いただきますので、そういった形で採用力の向上に繋げていければと考えております。

予約システムについては、自社の簡易的なシステムを取り入れようと考えています。求職者の管理、アプローチのための仕組みとなっており、予約いただいた方も当日、面接を受けられるような体制を整えており、システムがあることで人数の管理もできます。企業体感クイズについても、この仕組みを使って応募していただいたり、分散してアナログでというよりはデジタルを活用していくため、元々ある仕組みを使わせていただきます。

【中原会長】

ありがとうございます。他にご意見・ご質問はございますでしょうか。

【古田委員】

今回追加提案されているセミナーの中で、入社後の活躍支援とありますが、こちらはスケジュールに記載されている4回の中で実施されるのでしょうか。それとも事業終了後に別で実施されるのでしょうか。

【申請団体1】

4回の中に含んでいます。

【古田委員】

採用していても、していなくてもこういった内容は必要ということでしょうか。

【申請団体1】

もちろん本事業によって入社された方々の定着率が高まることも是ですが、今すでに働いていらっしゃる方にも辞めていただきたくないということで、若者育成方法について皆様豊富にノウハウを持っていらっしゃるわけではありませんので、本事業の成果に関わらず枚方の企業に採用であったり、育成・定着のノウハウを提供させていただくということは、本事業の目指すところと重複するところもございますので一緒に実施させていただきたいと思っております。

【古田委員】

今回の事業で採用された方に限らず、企業自体のスキルアップということでしょうか。

【申請団体1】

今は大手企業でも3年で3割の離職率ですので、中小企業はさらに上がってしまいます。もちろん本事業で入社された方にも辞めていただきたくなく、ご活躍いただくまで定着していただきたいという思いもあります。

【古田委員】

WEBクイズはこれまでに他市等でも実績はあるのでしょうか。

【申請団体1】

他の自治体でも実績はございます。

【古田委員】

そのときはどの程度の参加率でどの程度の効果があったのでしょうか。

【申請団体1】

場所によってかなり差はありますが、なるべく参加しやすいようWEBで参加ができるようにしています。今回の提案では企業にポスターを掲示していただきますが、それを見ないと分からない、というだけではやはり参加率が下がってしまいます。この施策を通じて企業を知ってもらうことが目的ですので、その企業のことを調べないと答えが出ないような内容にしようと思っております。当然、全体を実際に回っていただけると良いですが、まずは探す・調べる・企業を知っていただく、というところでWEBだけでも参加できるような仕組みとすることでそれなりの参加者数を確保しております。また、今回は枚方市にまつわる景品も考えておりますので、それによって差が出たりもするかと思いますが、調べることで実際に行かなくともWEBで完結できる内容を考えております。

【中原会長】

ありがとうございます。事前に資料を拝見し、本日お話を伺いましたが、工場見学ツアーの中身の具体的なイメージがあまり掴めません。先ほどのご説明の中で、学生達は自分が成

長できるかを重視する傾向にあるということでしたが、普段見られない工場をただ見るというだけではあまり意味がないように思いますが、どのようなイメージを想定していらっしゃいますか。

【申請団体1】

未来を感じる工場見学ツアーということで、ただ製造しているラインを見るというよりは、例えば一緒に社員食堂で社員の方と昼食を取るだとか、社員の方と一緒に参加し、一瞬でも自分がその企業の中に入ったかのような働くイメージを感じていただきたいと思っています。なかなか製造業というと遠いイメージの方も多いと思いますが、そこで働くイメージを感じていただき、さらに枚方市の企業でこのような物を作っているのだということを感じていただくことが見学ツアーの趣旨となります。

【中原会長】

社員の方と一緒にするのは社員食堂で一緒に昼食を取ってお話することと何かを見ることというイメージでしょうか。

【申請団体1】

そうです。

【中原会長】

ありがとうございます。それでは時間になりましたので、これにて終了とさせていただきます。

(申請団体1 退出)

(申請団体2 入室・準備)

【事務局】

ご準備はよろしいでしょうか。それでは、プレゼンテーションの時間は20分です。終了1分前になりましたらベルでお知らせし、所定の時間になり次第、終了とさせていただきますのでご了承ください。なお、プレゼンテーションが終了しましたら、引き続き委員の皆さんからの質問にお答えいただきますようお願いいたします。それでは、始めてください。

【申請団体2】

<申請団体2 説明>

【事務局】

それでは会長、以後の進行をお願いします。

【中原会長】

ありがとうございました。それでは委員の皆様からご意見・ご質問がございましたら挙手にてお願いいたします。

【中原会長】

先に1点よろしいでしょうか。資料の中では感染症対策について記載されていないようですが、口頭で結構ですので何かありましたらご説明いただけますか。

【申請団体2】

感染症対策として、学生向けの広報物や企業向けのご案内にマスクの着用と手指消毒のご案内を入れさせていただいております。当日、イベント開催時も検温や手指消毒をご案内し、各企業ブースにも消毒液や除菌シートを設置させていただき、万全の対策は取らせていただきます。

【中原会長】

ありがとうございます。それでは、他に委員の皆様からご意見・ご質問がございましたらお願いします。

【芦田副会長】

今年度、事業を実施いただく中で、私自身も枚方市の企業の者ですのでいろいろとお話をお伺いしております、企業側からしたときにフォローが少なかったという話を聞いております。その辺りを次年度はどうされるのかという点が1点と、ご提案いただいている合同面接会の日程は今年度とほぼ同じで最も参加者数が多いイベントを1番始めに実施されるのですね。工場見学やインターンシップ等その他の事業との連携についてご説明いただけますでしょうか。

【申請団体2】

ありがとうございます。1点目のフォローについては最後のフォローということでしょうか。

【芦田副会長】

開催に関する部分です。合同面接会を実施するとなったときに資料の提出をいつまでにとという点で、締切前のリマインドなどもあまりなかったと聞いております。

【申請団体2】

そちらに関しましては体制の見直しを考えておまして、今年度はその辺りの事務が個人に依ってしまっており、運営統括及び広報担当それぞれ下にもう1名付けて2名体制で運営させていただき、抜け漏れのない体制にしていきたいと考えております。これにより今年度滞ってしまった部分についても改善できるように考えております。

2点目が7月に重きを置くということですが、方針としてはやはり7月に実施させていただきたいと考えております。自社の得意な部分は新卒採用でございます。そのために遅くとも9月頃までが2024年卒の学生を集めるチャンスだと考えておりますので、まずは早期に

獲得できればと考えております。それ以降に関しては、多少尻すぼみになる部分はあるかと思いますが、広報に関しても今年度とは変えており1名でも多く参加いただいて内定に繋がっていただければと考えておりますので、頭は大きくなってしまおうかと思いますが、その方針で進めさせていただければと考えております。

【中原会長】

ありがとうございます。その他、ご意見・ご質問はございますでしょうか。

【平林委員】

今年度、面接会などの事業を実施いただいておりますが、求人を見る限り有資格者という部分でハードルが高い求人が多く見受けられました。今後、企業に要件緩和を図るであったりそういった部分は考えていらっしゃいますか。

【申請団体2】

仰る通りだと思っております。ヒアリングをさせていただいて次のブースにご案内させていただこうと思ったときにやはり有資格者と求人に記載されていることも多く、案内できないケースというのも多くありました。まずは、参加いただける企業のリストを増やすことと、それ以降は参加いただいた企業の中で枚方市と相談しながら運営できればと考えております。

【中原会長】

ありがとうございます。その他ご意見・ご質問はございますでしょうか。

【古田委員】

今年度の反省点とその反省を今回の提案にどのように活かしているかご説明をお願いします。

【申請団体2】

2点ありまして、まず1番の反省点といたしましては枚方市の事業を受託するのが初年度ということもありまして、7月の面接会で参加企業を集めきれなかったという点です。後半の事業に関しましては、申込企業が多く、選定させていただいている状況でしたが、最初は自社の体制が上手くいっておらず集めきれなかったということが反省点です。ただ、今のところ200社のリストのうち60社程は定期的に参加いただけるような体制になってきておりますので、次年度は7月の20社、20社の計40社も対応できるかと考えております。もう1点が広報に関してです。広く広報するため、転職サイトを活用しておりましたが、こちらが費用をかけた割には参加に繋がらなかったという結果でした。会場にお越しいただいた方のアンケートを見てみますと、枚方市中心の広報の方が反応が良かったという結果になっておりましたので、その辺りを踏まえてより地元の方の参加を促していける手段に変更しております。

【中原会長】

ありがとうございます。他にご意見・ご質問はございますでしょうか。

【海老原委員】

まず、プレゼンテーションをお聞きしまして、若者の心を掴む広報活動をされているという印象はありますが、企業を集めるための施策が少し弱いように感じます。また、工場見学は少し手法を変えてインタビューツアーという形でされるということで、若者にとっては非常に魅力的な企画だと思いますが、開催時期について、ほぼ学生の内定が決まっているであろう遅めの時期にされることについては、今年の採用に結びつけるためにもう少し早めの時期に開催しても良いのかと思います。もう1点、インターンシップアカデミーという形でワークショップの概要を2案ご提案されていて、そのうちの1案「SNS広報戦略ワーク」というのが新しいのかと思いますが、これは具体的にSNSを使った企業の広報を提案させるというイメージでしょうか。

【申請団体2】

まず、2番目にご質問いただきましたインタビューツアーについてですが、ご説明不足で大変失礼しました。12月に開催するのは、2024年卒の学生でなく、2025年卒以降の学生を対象としておりますので、まだ就職があまり決まっていないタイミングかと思います。仰る通り2024年卒の学生を対象とするのであれば、遅すぎるタイミングかと思いますが、学生の動きを見ていても12月頃まではインターンシップに参加している傾向にありますので、年内にまとめさせていただいております。年明け以降については、年々約10%ずつ参加意欲が下がってきておりますので、年明けに実施すると具合が悪いかと思っております。

1点目の企業集めについてですが、自社の営業が訪問している企業など、元々結びつきの強い企業にもフォローしていきたいと思っております。今年度はインターンシップアカデミーの参加企業募集に苦戦しており、その中で様々な企業のお声を聞くことができましたので、そのお声を活かしてメールや電話でしっかりとフォローしながら企業集めに繋げていければと考えております。

最後にインターンシップアカデミーのSNS広報についてですが、こちらはご認識の通りで、今の学生はSNSを自由に使えるデジタルネイティブの世代になっておりますので、学生ならではの視点の部分と、あとはやはり製造業の企業の良さというものを知っていただきたいので、形式的なインタビューをしっかりともらい、そのインタビューを基に自分達ならこのように広報するというのを考えていただければと思っております。なぜこのように考えたかと言いますと、今年度実施した際には難しいテーマが多く、自分たちのフィールドに持っていけるような部分も必要だと感じました。デザイン思考だけでは難しい部分もあったかと思っておりますので、学生の得意なジャンルと掛け合わせることでより良く進めていけると良いかと思い、ご提案させていただきました。

【中原会長】

ありがとうございます。まず、今年の2月のインターンシップアカデミーを拝見して気になった点ですが、2月は1つ目のワークショップを実施するだけでも時間に余裕がなかったように思います。難しいテーマだったため、考える時間として意味のある時間だと思いましたが、今回提案されたSNS広報と合わせて3時間で実施することが良いのかどうか、内容

のあるものになるかという点と、参加者に理系の方が少なかったということで、製造業の方からすると理系の方に来ていただきたいと考えていることが多いと思いますが、その辺りの改善策はあるのでしょうか。

【申請団体2】

まず、1点目についてはご説明不足で大変失礼いたしました。ワークショップについては、2つを実施するというよりはどちらか1つに絞って実施させていただければと考えております。参加する企業の内容によって変えていくのもありかと考えております。この辺りは枚方市と相談しながらなるかとは思いますが、難しい製品やサービス等であれば新商品・サービス開発でなく、SNS広報のワークを実施するなどそういったところで第2案として考えていければと思っております。

もう1点、理系に関してですが、こちらが非常に難しいところとなっております。理系の学生自体がそれほど多くなく大手企業でも理系集めに苦戦されているような状況です。そのような状況の中、理系学生を枚方市の中小企業に引っ張ってくるということが非常にハードなミッションとなっております。自社の特徴として、理系限定でDM配信や理系限定でハガキを送ることもできますので、その辺りをしっかりとセグメントさせていただき配信することで1名でも多くの獲得に繋げていければと考えております。

【中原会長】

ありがとうございます。参加企業と参加学生次第で、ワークショップ2案のうちどちらを実施するか検討されるということでもよろしいでしょうか。

【申請団体2】

今年度は事前に参加企業と打ち合わせを行い、どのような形で実施すると伝わりやすいか考えながらテーマを設定しておりました。次年度は、こういったアイデアを別案として持っておくことで、こういった方法もあるということを提案し企業が参加しやすいような流れを作れればと考えております。

【中原会長】

ありがとうございます。もう1点よろしいでしょうか。インタビューツアーについては、こちらは2社だけでしょうか。また、1社あたり90分で見学と懇談を行うのは時間的に足りないようなイメージもあるのですが、どのように考えられていますか。学生の参加人数が示されていませんので、その辺りも具体的にご説明いただけますでしょうか。

【申請団体2】

参加人数につきましては10名前後を想定しております。こちらはバスや施設に入れる人数の関係もあるかと思っておりますので、これくらいの数を想定しております。90分で足りるかという点につきましては、枚方つーしんと打ち合わせをしている中でこれくらいの時間があれば問題ないのではないかという時間を設定させていただいております。学生だけで記事を書いてもらうのは大変かと思っておりますので、当日は枚方つーしんの担当者も同行し一緒にヒアリングをしながら記事化を進めていけたらと考えております。90分あれば写真撮影や取材も十

分足りるかと考えております。企業数については午前中から開始し3社の案も検討しましたが、拘束時間が長くなると参加学生が減ると考えましたので、半日で設定し2社を取材する形が今回の流れとなっております。時間を延ばせば3社も可能かとは思いますが、検討した結果、今回のご提案がベストと考えました。

【中原会長】

ありがとうございます。ご検討の経過よく分かりました。他にご意見・ご質問はございますでしょうか。

【海老原委員】

合同面接会の当日フローの中で、希望企業が面談中の場合は待機していただくに記載されていますが、今年度実施された中で待機時間が長くなることによるロスはありませんでしたか。

【申請団体2】

今年度は、空いている企業があればそちらのブースへ案内することであまりロスなく対応することができました。求職者の傾向を見ていると、職種ももちろんありますがどちらかと言うと枚方市で働きたいという考え方の求職者の方が多く、他の企業をご案内すると一度聞いてみようかなという流れになっていましたので、待機時間が長くなってしまうことは一部の企業に人気集中した場合に稀に発生するような状態でした。

【中原会長】

ありがとうございました。それでは時間となりましたので終了とさせていただきます。

(申請団体2退出)

(申請団体3入室・準備)

【事務局】

ご準備はよろしいでしょうか。それでは、プレゼンテーションの時間は20分です。終了1分前になりましたらベルでお知らせし、所定の時間になり次第、終了とさせていただきますのでご了承ください。なお、プレゼンテーションが終了しましたら、引き続き委員の皆さんからの質問にお答えいただきます。それでは、始めてください。

【申請団体3】

<申請団体3説明>

【中原会長】

ありがとうございます。それでは委員の皆様、ご意見・ご質問を挙手にてお願いします。

【芦田副会長】

オンライン説明会について、そのままサイトを置いておいて見られるようにするという点は良いと思いました。一方で、オンライン説明会の実際の運営があまり分からないのですが、オンライン説明会で実施した場合は企業側も自社で対応するのか、それともどこかに集まりブースを作るのかという点が1点と、そこで行われる名刺交換について、企業側は企業の名刺を渡せば問題ないかと思いますが、求職者は学生だったり就職されていない方なので名刺自体がないかと思います。企業側は求職者の連絡先などの情報をそのタイミングで入手することはできるのでしょうか。もう1点、セミナーについてですが、求職者向けのセミナーとして講師案を2名ご提案いただいておりますが、本事業は枚方市の製造業に特化して働く意欲を向上させることが目的です。今回のご提案がその趣旨に合致しているのかどうかということがこの内容ではいまいち分かりませんでしたので補足で説明いただけますでしょうか。

【申請団体3】

今回ご提案するオンライン合同説明会については、求職者が会場に行ってブースに座っているというイメージをスマホやパソコンで行うものになります。会場というのはバーチャル空間だけでして、企業は企業で自社で参加いただき、参加者はスマホやパソコンで参加するという形になります。提案書にイメージ図を掲載しておりますが、各ブースに椅子が設置しており、椅子の数がこの部屋に入れる数になります。1対1で面接や会社説明をしていただくこともできます。

名刺交換については、対面のときの名刺交換とは異なります。学生も参加されるため解禁や個人情報の問題もありますので、求職者の情報を企業側がいつでも見られるということは難しいかと思います。求職者は自分のデータを先に登録し、見せて良い相手に対して見せて良いデータをオンライン上でデータを交換します。名刺というと実物があるようにイメージされるかと思いますが、あくまでバーチャルのみで行います。アバターをクリックすることで、その人の情報がある程度は見られますが、名刺交換をした人はより詳細な情報を見ることができるという形になります。求職者によっては自身のフルネームを載せるのが嫌な方もいるかと思うので、それはニックネームになっており名刺交換をした人にだけフルネームが見れることとなります。そこから後日の面談の予約をできます。バーチャルの空間でも良いですし、企業を訪問しても良いかと思います。

セミナーについては講師案を4名挙げさせていただきましたが、今回枚方市にお住まいの方に来ていただくということが第一だと思いますが、近隣に京都もありますのでUIの人材にも来ていただいた方が良く考えましたのでこういったご提案をさせていただいております。企業は様々な情報が欲しいかと思うので、これまでのニーズに合ったような方をご提案させていただいております。逆にこういう方を講師としてお願いできないかといったような案はいただけるのでしょうか。

【芦田副会長】

事業の内容に合っているのであれば問題ないかと思いますが、今のご説明をいただいた中では地元の企業で働こうという意欲を上げるようなセミナーなのかどうかは疑問に思いました。

【中原会長】

ありがとうございます。その他、ご意見・ご質問はございますでしょうか。

【海老原委員】

御社のご提案は、学生と企業両面の広報アイテムや繋がりを多数持っているという印象を受けましたのと、オンライン合同面接会はずごくユニークで今の若者に合っていると感じました。ただ、オンライン合同面接会についてはこれまで実績をたくさん積んでおられるかと思いますが、イメージがしにくい部分があります。オンライン合同面接会を7月に実施した後、常設するというのですが、そこで採用決定まで結びつけるということでしょうか。それとも最後の対面の面接会の中で採用決定するということなのでしょう。すべてオンラインで採用することについて中小企業がどのくらいできるかという疑問があります。

【申請団体3】

KPIが就職者数ということで、最終目標はそこになるかと思いますが対面であろうと、WEBであろうと合同説明会ではその時の出会いはありますが、若い方や学生がそこでしっかりと情報交換をしているかというとなかなかその場ではできず、企業側はあとであの人が良かったとなっても応募していただくのを待つという形が多いかと思いますが、接触回数を増やしたいと考えております。企業でも会社説明会やミニ合同説明会を開催することがあるかと思いますが、それをこの中で対面と合わせて実際にやるきっかけを作れば1回訪れた人にも覗いていただける場を作っておきたいと考えております。イベントを周知する中で、この常設オンライン会場の掲示板などでもセミナー等の周知をしていきます。動画については、企業と運営側が一方向的に作った動画というのは割と退屈な内容になってしまうことが多く、学生側からは、おもしろくない、知りたい情報が全然ないという話を聞きますので、学生が知りたいことを取材してもらう方が良いかと思っております。

【中原会長】

ありがとうございます。その他、ご意見・ご質問はございますでしょうか。

【平林委員】

本事業ではものづくり企業がメインになるかと思いますが、なかなか応募者の少ないものづくり企業への就職意欲喚起という面でもものづくり企業のPRが必要だと思います。ご提案の中では交流会と企業調査隊だけかと思いますが、この2つでもものづくり企業への就職意欲喚起ができていると考えていらっしゃるのでしょうか。例えば最初に仰られたように企業側の繋がりが350社程あるという中で、企業調査隊が5社の他、交流会ということですが、十分に魅力の発信ができていけるのかなと感じます。

【申請団体3】

こういったイベントに関しては、今回はこの2つがメインになりますが、自社では日々枚方市内の製造業の企業と接する機会が非常に多くございまして、その中でこういった学生がいるということをごちらから発信できればと考えております。その中で、興味を持った企業にこういったイベントの参加を促していければと考えております。日々、取引先を回る中で

こういった魅力を学生や若者に発信できればと考えております。イベントの数としては少ないかもしれませんが、プラスアルファで運営側で働きかけていければと考えております。動画については、5社以外も作りますし、企業側には、ものづくり企業の紹介で部品が並んでいる冊子のようなものではなく、働いている人の顔が見えるようにしてほしい等を伝えていくことが必要だと考えています。代表団体が枚方市の企業ということで、普段から企業と話をできますので、本事業で若者が作った5社の動画はこういう動画なので、若者が知りたいこういうことを発信していかないと、ということを他の枚方市の企業にも伝えていき、学生が知りたいことをどんどんやるということをこのバーチャルの中で実施していきたいと思っております。

【中原会長】

ありがとうございます。その他、ご意見・ご質問はございますでしょうか。

それでは私から質問させていただきます。これまでに出了た質問と重複する部分もありますが、オンラインの面接から最終的に採用に繋がる道筋がイメージしきれないところがありまして、例えばこれまで実績として製造業の企業でオンラインの面接だけで決まったところがあるのであればそういうケースの具体的なイメージをお伝えいただけますか。あるいは、製造業の企業からは、採用するには会って見ないとオンラインだけでは、という声も聞きますので、まず、会いやすいオンラインで面接をし、お互いに関心を持たれた後は個別に進めていただくよう誘導されるのか、最終内定に繋がるまでのイメージをもう少しご説明いただけますでしょうか。

【申請団体3】

企業調査隊はかなり前から様々なところで実施しており、実際インタビューに行ってそこに応募するということもありますし、それ以外の効果としては学生が作った動画は残りますので、企業側が自社はこんな会社です、というものでなく学生目線でこういう会社ですという紹介をすることで、実際取材に行ける人は数人ですが、他の学生が応募するという効果があります。接触の場を多くするためにオンラインを活用しているのであって、現場を見せないということではございませんので、もちろん現場での面接や個別の見学を実施いただけます。初めから部品やサービスの説明をするのではなく、最初はバーチャルの中で社員と交流してから現場に行っていただくということをしなければ、なかなか採用に繋がらないかと思っております。バーチャルはあくまで入口と考えていただき、採用の面接は最後の2月に実施します。インタビューに行く学生はそもそもその企業に興味を持っていることが多いので、その場で応募する学生もいますし、それをきっかけに別の企業に就職する学生もいます。交流会に来た学生が、他の学生から説明を受けて自分も見学に行きたいとなり、就職に繋がるケースも割と多いです。

【中原会長】

ありがとうございました。それでは時間となりましたので終了とさせていただきます。

(申請団体3 退出)

(申請団体4入室・準備)

【事務局】

ご準備はよろしいでしょうか。それでは、プレゼンテーションの時間は20分です。終了1分前になりましたらベルでお知らせし、所定の時間になり次第、終了とさせていただきますのでご了承ください。なお、プレゼンテーションが終了しましたら、引き続き委員の皆さんからの質問にお答えいただきます。それでは、始めてください。

【申請団体4】

<申請団体4説明>

【事務局】

それでは会長、以後の進行をお願いします。

【中原会長】

ありがとうございました。それでは委員の皆様からご意見・ご質問がございましたら挙手にてお願いいたします。

【海老原委員】

業務計画書を拝見しまして、きっちりと計画されていると改めて感じました。全体的なイメージとしてオンラインというよりは対面で実施するというのを重視されている印象を持ちます。提案の中にありましたものづくり企業合同オープンカンパニーについて、当日のプログラムスケジュールの中で枚方市で働くことの魅力を解説いただくようになっていますが、こちらは具体的にどのような内容で、どのような手法を想定されているのでしょうか。

【申請団体4】

枚方市で働くことの魅力という部分について、具体的にコンテンツをご用意できているわけではございません。まず、ご参加いただいた方に枚方がどのような街であるかということをご紹介し、その後にもし可能であれば今回このオープンカンパニーにご参加いただく先輩社員の方を招聘しましてお話しいただくか、もしくは事前にインタビューをして枚方で働くことの魅力をヒアリングし、運営事務局から伝えるかもしくは直接ご説明をいただくような形で、このコンテンツを作っていきたいと考えております。

【中原会長】

ありがとうございます。その他、ご意見・ご質問はございますでしょうか。

【芦田副会長】

海老原委員が仰った通り、スケジュール等きっちりと計画されており、これまでの経験が活かしていると感じました。まず、1点目としまして、面接会で就職決定に至らなかった企業が御社の就職情報サイトを無料で活用できるということで、条件は提案書に記載いただいて

いますが、そこから10社を選定するのは非常に難しいと思います。協議の上とは書かれています。どのように選定されるか現時点で考えていらっしゃるものがあればご説明いただけますでしょうか。2点目にもものづくり企業合同オープンカンパニーについてです。企画の内容自体は良いものだと思いますが、対象求職者が学生に絞られており、学生以外の転職者向けのイベントなどは何か考えていらっしゃいますか。

【申請団体4】

1点目のご質問についてですが、やはり選定の基準に関しては難しいと思っております。大前提としましては、「製造業であること」が絞り込みの一段階目と考えております。あと1つは提案書にも記載させていただきましたが、「過去1年間に有料で民間就職情報サイトに掲載をしていない企業」を想定しています。掲載している企業は自社でもある程度採用コストをかけられるということで、むしろそういったコストをかけることができない企業を中心に選んでいきたいと考えております。その上で、そういった企業が11社以上あった場合にどのように絞り込むかという点に関しては非常に難しく、現時点で何かアイデアを持ち合わせているわけではありませんが、過去に実施した内容で言いますと、自社の採用ホームページを持っていない企業であったり、新卒学生の採用に取り組んでまだ日が浅い企業など、どちらかと言うと新卒採用と距離のある企業を中心にサポートしていければと考えております。2点目のご質問についてですが、今回のご提案については転職層でなく新卒層、低年次プラス卒業年次の方々をイメージして企画しております。これまではいわゆるインターンシップという取組として広義で定義ができましたが、来年度以降はインターンシップという言葉の定義自体が大きく変わるため、恐らく今回ご提案の取組についてはインターンシップとは呼べない活動になりますので、あえてオープンカンパニーという定義づけの中で、これから卒業される学生をメインのターゲットとして実施していければと考えております。ただ、こちらは全て提案ですので、受託後に対象や実施時期についてどのようにしていくかという点については枚方市と協議の上、決定していきたいと考えております。

【中原会長】

ありがとうございます。その他、ご意見・ご質問はございますでしょうか。

それでは私から質問させていただきます。前回、受注いただいたご経験があるかと思いますが、その際に企業から受けたフィードバック等を踏まえて、今回受注した場合、どのように改善されるか考えていらっしゃるかなどがありましたらお聞かせいただいてもよろしいでしょうか。

【申請団体4】

本業の方でもそうですが、いかに1人でも多くの求職者の方と出会える機会を創出するかが1番大きなポイントだと考えております。そのためにまずは、合同就職面接会の目標人数80名、30名をしっかりと集めていくこと、もう1つはそこから就職決定できなかった企業も多数ある中で、そういった企業をどのようにサポートしていくかという点で、今回は前回にはなかったご提案として自社就職メディアをシーズンを通して開放するというご提案をさせていただきます。これにより、第一段階の合同就職面接会で残念ながら就職決定に至らなかった、内定出しができなかったという企業も、年度末までにはなりますが、1年

間を通じて伴走的に支援ができるかと思いましたが今回のご提案に反映させていただいております。合同就職面接会当日に多くの求職者と出会える、また、当日以外も支援をするという2点を挙げさせていただきたいと思えます。

【中原会長】

ありがとうございます。その他、ご意見・ご質問はございますでしょうか。

【海老原委員】

今回の計画書の中では、いわゆる企業見学ツアーのようなものはないようですが、こういったものは以前からされていなかったのでしょうか。それとも今回の提案ではあえてされないという判断をされたのでしょうか。

【申請団体4】

以前は、職場体験型見学ツアーを実施させていただきました。ただ、見学ツアーとなりますと、見学を受け入れるだけの土壌がある企業に限られてしまうというメリットもあればデメリットもあるかと思えます。見学を受け入れる土壌のある企業以外にもこのプログラムに参加いただき、広く接点を持っていただける機会ということを考え、職場見学ではなく、企業側に来ていただくやり方に変更させていただきました。企業が参加しやすいようにという意味合いでこういった形をとらせていただきました。

【中原会長】

ものづくり企業合同オープンカンパニーについて、商品の企画担当としてではなく、人事担当として採用広報について学生に考えてもらうという設定にしたのは何か理由があるのでしょうか。

【申請団体4】

本事業の本質を考えたときにやはり採用というのが中心になるだろうと考えています。過去類似事業で商品企画など他のテーマで実施したこともありますが、参加する学生だけでなく、企業にとっての採用力向上ということを考えてときに、テーマとしては採用というものを持ってきた方が、企業にとっても令和6年度以降の採用課題解決のヒントとなるようなアイデアが学生から出てくるかもしれませんので、テーマ自体を採用広報ブラッシュアッププロジェクトと設定させていただきました。

【中原会長】

ありがとうございます。その他、ご意見・ご質問はございますでしょうか。
ないようでしたら以上で終了とさせていただきます。ありがとうございました。

(申請団体4 退出)

(申請団体5入室・準備)

【事務局】

ご準備はよろしいでしょうか。それでは、プレゼンテーションの時間は20分です。終了1分前になりましたらベルでお知らせし、所定の時間になり次第、終了とさせていただきますのでご了承ください。なお、プレゼンテーションが終了しましたら、引き続き委員の皆さんからの質問にお答えいただきます。それでは、始めてください。

【申請団体5】

<申請団体5説明>

【事務局】

それでは会長、以後の進行をお願いします。

【中原会長】

ありがとうございました。それでは委員の皆様からご意見・ご質問がございましたら挙手にてお願いいたします。

【芦田副会長】

まず、1点目にセミナーのテーマ案で3つ挙げていただいています。これはそれぞれのテーマで3回実施するのか、それともこの中からいずれか1つのテーマで、セミナーの開催は1回なのかどちらでしょうか。また、冒頭にご説明いただいた通り中小企業でも採用できるようにするためには、若者がどういう企業を求めているのか、それに対し企業がどのようにPRできているのかという点が重要だと思います。企業のそれぞれの魅力とそのPRの仕方について、ご提案いただいた内容のどの部分で実現できるのかをご説明いただけますでしょうか。

【申請団体5】

セミナーに関しては7月下旬に1回を予定しておりますが、著名人・経営者向け講演を1日で実施予定ですので、日付が合わないようであれば2回を考えております。基本的には1日で著名人・経営者向け講演、その後人事向け講演を実施させていただきたいと思っております。

中小企業の若者に向けてのPRに関してですが、各企業の得意分野や特徴があるかと思いますが、ホームページを作成させていただきますので、撮影した企業動画をそちらでご確認いただき、文字や写真でなく動画で若者に訴求できるような流れを作っていきたいと考えております。若者がよく使うSNSを入口として使い、ホームページに誘導できるよう広報を打ち、動画を確認いただきます。企業の魅力というのはそれぞれ異なるかと思っておりますので、その点は各企業と相談しながら進めていきたいと思っております。

【芦田副会長】

PR動画の作成にあたってサポートはしていただけるのでしょうか。

【申請団体5】

企業PR動画はこれまでも撮影させていただいており、中にはこれを使ってほしいという企業もいらっしゃいますし、作ったことがないという企業もいらっしゃいます。そういった企業にはサポートに入らせていただいております。

【芦田副会長】

セミナーについてですが、提案書に記載の通り「中小企業を就職先と考える場合の課題など、若者を採用したいと考えている中小企業への提言」ということをテーマに講師を選ばれるということによろしいでしょうか。

【申請団体5】

ご認識の通りです。

【中原会長】

ありがとうございます。その他、ご意見・ご質問はございますでしょうか。

【海老原委員】

合同面接会は基本的にオンラインでなさるのでしょうか。

【申請団体5】

合同面接会は対面とオンラインを交えて実施いたします。

【海老原委員】

同時にされるということでしょうか。

【申請団体5】

各企業のブースを設置させていただき、時間を区切りながら説明会とその後面接を行う予定をしているのですが、オンライン用のブースを1つ設置しまして、そちらに各企業お一人お越しいただき発信をしていただき、求職者にオンラインで見させていただきます。他の事業でもオンラインと対面の合同説明会を実施しておりますが、会場に来たいという求職者の方が非常に増えています。ただ、遠方で来られないという方もいらっしゃいますのでそういった遠方の方用にオンラインを上手く活用できればと思いますので、同時に実施していこうと考えております。

【海老原委員】

スカウトカードと面接リクエストカードについて、「スカウトカードを渡して次回の選考に」と記載されていますが、11月の面接会で渡して2月の面接会に再度来ていただくということでしょうか。

【申請団体5】

合同面接会自体は11月と2月に開催を予定しておりますが、そこで双方のリクエストカードを取りまとめ、情報共有をさせていただきます。別途、時間を作ってくださいマッ

グさせていただきますということです。

【海老原委員】

それは各自で実施していただくということでしょうか。

【申請団体5】

ご認識の通りです。

【海老原委員】

合同面接会の開催時期が11月ということで、少し遅いように感じますが何か理由があるのでしょうか。

【申請団体5】

11月開催は3回生向けということもありますが、4回生でもまだ内定をもらえていない学生が結構います。昨年、大学を回らせていただいた際も、12月の時点で2割ほどの学生がまだ内定をもらえていない状況でしたので、そういった方も対象に考えています。

若年者に関しても幅広く取組が必要かと思っておりますので、当然ながらそこもターゲットと考えております。6月開催も検討しましたが、集客の点を考慮すると厳しいかと判断しております。夏や9月になってしまいますと、テストであったり、帰省をされていたりで難しいかと思っておりますので、これまでの自社の集客の実績を踏まえても11月と2月が最も集められるということでこのようにご提案をさせていただいております。

【中原会長】

ありがとうございます。その他、ご意見・ご質問はございますでしょうか。

【平林委員】

どちらかと言うと大学生や専門学校生の意識を形成し、将来的に就職に繋げるということでしょうか。35歳未満の方に対しても何かそういった対応というのは考えていただいているのでしょうか。

【申請団体5】

すでに働いている若年者の方というのは、就業意欲はある程度お持ちかと思っておりますので、そういう意味では学生に枚方市内の企業の魅力を感じていただいて、留まっただくというところが必要かと思っております。枚方には地方から来ている学生が多いと実感しておりますので、そこで留まっただくには企業の魅力を発信する、感じていただく機会というのはやはり学生の方が多く持つべきではないかということで今回のご提案をさせていただいております。

【平林委員】

学生以外の35歳未満に対しては他の方法でPRするというのでしょうか。

【申請団体5】

広報であったりは進めてまいります。

【平林委員】

合同面接会についてですが、提案書の中で「大手企業を志望する学生が面接に慣れるために選考に参加するケースも見受けられます」と記載されていますが、11月と2月に開催を予定しているのはそういう意図でしょうか。

【申請団体5】

3回生も入ってくるかと思imasので、中にはそういった方もいらっしゃるかと思imas。

【平林委員】

この面接会で内定を確保するというのではなく、慣れてもらうために来てもらっているというイメージでしょうか。

【申請団体5】

入りはそういった形になりますが、来ていただき企業の魅力を発信することができれば関心を持っていただけるかと思imasので、そこをどのように魅力を引き出せるかというところで、PR動画を作る際にアドバイスをさせていただければと思imas。慣れるためだけに来ていただいても意味がないかと思imas。入りがそういった方をどう掴むかが重要かと考えております。

【中原会長】

ありがとうございます。その他、ご意見・ご質問はございますでしょうか。

それでは私から質問させていただきます。合同面接会について、いくつかあるブースのうちの1つをオンライン配信用にということでしたが、並行して実地で各企業が会社説明などを行っている中、ブースに来られる企業というのは希望される企業だけが来られるのか、それとも全ての企業が順番に来られるのでしょうか。また、オンライン配信とアーカイブ配信についてはどのようなビジュアルでされるイメージでしょうか。

【申請団体5】

専用のブースを作らせていただき、まずは各企業に希望されるかどうかのアンケートを取らせていただきますが、恐らく多くの企業に参加いただくことになるかと思imas。15分程度で説明をしていただき、順番に企業に入らせていただくという流れになります。ただ、それをずっと流しているのを見るというのも難しいかと思imasので、ホームページでアーカイブ配信をさせていただきます。配信については、若干編集した映像をそのままホームページに掲載していきます。

【中原会長】

求職者が配信を見ようと思った場合は、何時からどの企業の配信があるかが事前に分かる

ような形で広報するのでしょうか。

【申請団体5】

集客の際、事前にオンライン希望を募っていかうと考えております。その際にメールアドレス等も集約できるかと思っておりますので、後ほど参加企業のリストやURLを配信させていただき、確認いただけるように実施したいと思っております。

【中原会長】

ありがとうございます。その他、ご意見・ご質問はございますでしょうか。

【芦田副会長】

合同面接会以外に実施する具体的な取組として、若年求職者採用のためのオンライン講座がありますが、枚方のものづくり企業への就職意欲を向上させるような内容であれば良いと思ったのですが、ご提案いただいたWord講座・Excel講座・簿記3級講座・WEBデザイナー講座というのは少し違うように思います。講座の内容について、枚方の中小企業で働くことへの意欲向上に繋がるような内容に変更は可能でしょうか。例えば技専校との連携なども考えられるかと思っておりますが、いかがでしょうか。

【申請団体5】

講座に関しましては、枚方市と協議の上決定させていただければと考えております。ただ、内容によっては難しいと判断させていただくこともあるかと思っておりますが、今回のご提案内容で決定ですというものではございません。これまでに実施した中で、満足度の高かった講座を抜粋させていただいておりますので、今後協議をできればと考えております。

【芦田副会長】

恐らく講座だけ受けて終わってしまうという可能性が高い内容かと思っておりますので、もう少し他の事業との連携を図っていただければと思います。

【中原会長】

ありがとうございます。その他、ご意見・ご質問はございますでしょうか。

今回のご提案は未来に向けて長期的な視点のイベントが多いと思いますが、これでKPIの達成に繋がるのか疑問に思う部分があります。今回のご提案の中で、就職に繋げるためのイベントとしてはやはり合同面接会と考えていらっしゃるのでしょうか。その他のイベントは長期的に製造業に興味を持ってもらうというニュアンスだと感じましたが、その辺りもう一度ご説明いただいてもよろしいでしょうか。

【申請団体5】

今回の事業で何が最も苦勞するかと考えたときにやはり集客に苦勞すると考えました。SNS配信やリーフレット配架は当然実施しますが、これだけでは厳しいということで、何かが集まる取組をしなければ厳しいと感じましたので、面接会以外のイベントは広報の1つと考えております。こちらで集まっていたいただいた学生には、合同面接会の案内をさせていた

だき、参加を募ってまいります。当然、未来を見据えてということもありますが、短期的にも今回の合同面接会に来てほしいということは訴えていこうと思います。就職に繋がるということに関しては面接会のみになってしまいますが、他のイベントについても今回のK P Iを達成するための広報手段ということで見ただけであればと考えております。

【中原会長】

ありがとうございます。それでは、時間となりましたので以上とさせていただきます。

(申請団体5退出)

【中原会長】

それでは、プレゼンテーションは以上となります。ここで事務局に対しご質問、または確認されたい事項等がありましたらお願いします。

<質問等なし>

【中原会長】

それでは、案件(4)「採点について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

【事務局】

採点の考え方につきましては、先ほどご説明させていただきましたとおり、審査項目ごとに配点内で採点いただきます。採点にあたり、お時間が必要ということがございましたら、大変お荷物になるかとは存じますが、関係資料をお持ち帰りいただき、評価いただいた採点表、評価コメントをメールにてご提出いただきたく存じます。期限につきましては、事務処理手続きの都合上、大変短く恐縮ではございますが、2月22日(水)正午までに事務局に届きますようお願いいたします。また、本日、資料一式をお持ち帰りいただく場合につきましては、返信用封筒をお渡ししますので、大変お手数をおかけいたしますが事務局に返送いただきますようお願いいたします。なお、採点表・評価コメントは、事務局にて取りまとめ、次回の第3回審査会において、採点結果の集計、取りまとめた評価コメント(案)を提示させていただきたいと考えております。説明は以上でございます。

【中原会長】

ありがとうございます。ただいまの説明に対して、委員の皆さんからご質問、ご意見等はありませんか。

<意見等なし>

【中原会長】

それでは最後、案件(5)「その他」について、事務局よりご説明をお願いします。

【事務局】

次回の審査会は、3月1日（水）午前10時30分より開催させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【中原会長】

これにて、本日の案件はすべて終了しました。以上をもちまして、令和4年度第2回雇用推進事業者選定審査会を閉会いたします。長時間にわたりありがとうございました。

以上